

## わかる授業を目指して

羽島高校では「わかる授業」を追求するため、教員の校内研修として教科ごとの授業研究を進めています。今回（6月8日）は理科（化学）の授業でした。

研究のポイントは、酸と塩基の組み合わせを変えて2種類の異なる滴定曲線を実験結果から作成することでした。pH試験紙を用いて色の変化を観察することや滴定曲線のグラフを作成することで、pH変化の様子を、視覚的に理解することを目指しました。実験結果から「なぜ」このような結果になったのかをグループで議論し、考えをまとめました。実験する上で大切な「実験・結果・考察」する時間を設けた授業内容でした。

